

非常用開放機構付き開き戸（閉じ込め防止ドア）

【技術分野】

土木・建築

【特許番号/公開番号】

特許第 3975216 号

【利用分野・適用製品】

非常用開放機構付き開き戸

【ライセンス情報】

実施許諾 【可】 権利譲渡 【可】

【事業化情報】

実施実績 【有】 許諾実績 【有】

【目的】

トイレ等に多く採用されている開き戸において、ノブの故障等でドアが閉まった状態で固定されてしまった場合、内側からでも外側からでも、壊さずに開けることができるようにする。

【技術概要】

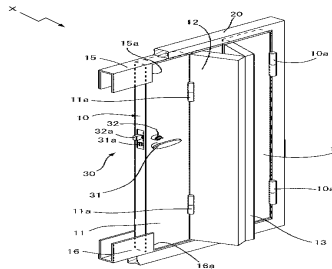
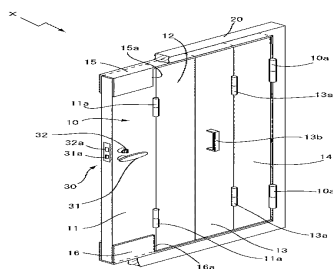
ドア板の側部開放端において幅方向に出没する突起と、ドア枠側に固定される、突起に係合する係合部とによりドア板を固定するロック機構を有する片開きの開き戸であって、ドアの内側からの所定操作により、少なくとも係合状態の突起と係合部との係合が外れる長さだけドア板が幅方向に縮む非常用開放機構付き開き戸である。ドアを閉めてロック摘み32を操作してデッドボルト32aを突出させてロック状態としたときに、ロック摘み32からデッドボルト32aに至る機構やハンドル31等が故障すると、内側にいる人はこのままではドア板10の内側に閉じ込められてしまう。このような場合には、閉じ込められた人は、第2折畳板部13に取り付けられた取っ手13bを強く内側へ引くことにより、ガイド部材15、16と第1折畳板部12、第2折畳部材13との磁石による固定が解除され、第1折畳板部12、第2折畳板部13は内側に折れ曲がるとともに、開放端部11が平行移動し、ドア板10の幅が縮むことになる。

【効果】

ドアが何らかの事情で閉まった状態で固定されてしまった時、ドアの内側からでも外側からでも、所定の操作によりドア板が幅方向に縮むので、ドアノブの突起部と係合部が大きく外れ、ドアを壊さずに開けることが出来る。

この操作は一瞬の動作で、しかも何回も繰り返し使用できる。

【特記事項・図面・その他】



実施形態に係る非常用開放機構付き開き戸の表側から見た一部破断斜視図、及び実施形態に係る非常用開放機構付き開き戸の動作を示す裏側から見た一部破断斜視図である。